

時期	項目	内容・目的等	
2 年 次	1月上旬	修士論文提出	●定められた期間内に、修士論文および学位申請書類を大学院事務課に提出
	1月中旬	修士論文受理	●提出論文の受理（1月経営学研究科委員会にて）
	2月上旬	最終審査	●論文審査および最終試験ならびに学力確認の実施 ・審査員および試験官：主査1名・副査2名 ・最終試験は口頭試問により実施 （20分のプレゼンテーションと30～40分の質疑応答） ・学位審査委員会での評価は、審査員3名の合議により決定
	2月中旬	合否決定	●学位審査委員会が審査結果報告書を作成し、経営学研究科委員会に提出 ●経営学研究科委員会が報告に基づき審議し、合否を決定

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある

経営学専攻【博士後期課程】

時期	項目	内容・目的等	
入学前 (入学試験時)	指導教員決定	●面接試験〔試験官：指導希望教員（第一志望あるいは第二志望）2名+1名の教員〕により、研究希望領域および研究計画案を確認 ●研究計画案と指導教員研究領域とのマッチング確認 ●研究科委員会にて入学試験合否と指導教員決定 ●希望があれば研究科委員会にて副指導教員を決定	
1 ・ 2 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス 個別履修指導・相談	●教員紹介および大学院での学修に関する基本的事項の説明【1時間程度】 ●上記ガイダンスの後、指導教員からの個別履修指導（履修相談） ※履修登録および変更には、指導教員の承認が必須 ●研究活動に向けた参考文献・資料等の確認と紹介 ●研究テーマの確認
	(1～3年次) 指導教員（副指導教員）の演習科目を履修	●博士課程3年間にわたり、指導教員の演習科目を履修 ・研究計画の作成と提出 ・教員指導の下で研究活動進行 ・博士論文の執筆方法等の確認 ・研究テーマの確認 ・進捗状況の確認 ・学会での研究発表や学術雑誌への投稿に向けた指導 ※指導教員による研究指導は、学生の状況により、演習科目以外の時間でも随時行われる ※副指導教員がいる場合には、副指導教員の演習科目も履修し、指導を受ける	
	5月下旬	「修士論文プロポーザル」参加 修士課程2年次生が報告	●修士課程2年次生による報告会に参加（発言・質問可） ・他者の研究内容・方法・成果を知り、知識や考えを深める ・教員のコメントを聞くことで、自身の研究の参考にする ・下級生にアドバイスすることを通して、自身の研究を再確認する
	10月下旬	「博士論文中間報告会」	●発表および質疑応答 ・参加者：研究科教員・修士課程学生・博士後期課程学生 ・評価者：研究科教員（指導教員含む） ・プレゼンテーション【15～20分】：プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）および配布文書（レジュメ等）を用いて発表。その時点での研究の進捗状況・成果および疑問点・今後の研究計画等について説明 ・質疑応答【15分～20分程度】：教員および参加者（他の大学院学生）から幅広く評価・助言・指導を受ける ・『中京経営紀要』への投稿の執筆準備を兼ねる ※時間は目安であるため、変更される場合がある
	11月下旬	「修士論文報告会」参加 修士課程2年次生が報告	●修士課程2年次生による報告会に参加（発言・質問可） ・他者の研究内容・方法・成果を知り、知識や考えを深める ・教員のコメントを聞くことで、自身の研究の参考にする ・下級生にアドバイスすることを通して、自身の研究を再確認する
	12月中旬	「経営学研究科OB報告会」参加	●経営学研究科修了生（博士学位授与者など）が、在学時の経験・本人の近況・後輩へのアドバイスなどについて説明・報告 ・学修・研究活動・進路選択の参考にする
	1月中旬	「中京経営紀要」投稿	●『中京経営紀要』に原則として投稿 ・1年間の研究の成果を論文の形にまとめ、博士論文の基礎とする

時 期	項 目	内 容・目的等	
5月まで	1・2年次と同様		
7月下旬	博士論文ドラフト作成	●指導教員（副指導教員）に博士論文のドラフトを提出 ・審査に入ることができる内容になるように指導を受ける	
9月末まで	博士論文提出	●博士論文および学位申請書類を大学院事務課に提出	
10月中旬	学位審査委員会の決定	●研究科委員会で、主査1名・副査2名以上からなる学位審査委員会を決定 ●審査委員会で、本審査に入るレベルであるかを事前審査	
10月下旬	「博士論文中間報告会」	●発表および質疑応答 ・1、2年次と同様 ・博士論文への指導を兼ねる	
11月中旬	事前審査報告	●研究科委員会で、事前審査の報告に基づき、本審査に入るかどうかを審議	
11月下旬	「修士論文報告会」参加 修士課程2年次生が報告	●修士課程2年次生による報告会に参加（発言・質問可） ・1、2年次と同様	
3 年 次	11月下旬 ～1月中旬	本審査	●学位審査委員会を随時開催 ・学生が論文について説明し、質疑応答を通して主査及び副査が指導し、それに従い修正 ・原則3回開催するが、完成度により変更 ・最長で受理日から1年間審査をし、一定のレベルに達しない場合は不合格となる
	1月下旬	最終審査	●論文審査および最終試験の実施 ・審査員および試験官：学位審査委員会 ・学位審査委員会がこれを兼ねる場合がある ・学位審査委員会での合議により最終審査結果を決定 ・学位審査委員会が審査結果報告書を作成
	2月上旬	公示	●審査した博士論文を公示 ・公示期間は8日以上 ・公示の1週間前までに研究科委員会の構成員に通知 ※2月の研究科委員会の15日前までには本審査を終了して通知
	2月中旬	合否決定	●経営学研究科委員会で審査結果報告書に基づき審議し、投票で合否を決定 ※審査が遅れた場合、3月の研究科委員会で合格となれば3月に学位授与
	3月下旬	学位授与	

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある